

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	I期食道癌に対する重粒子線治療とX線治療の線量分布に関する研究
	研究目的	放射線治療はI期食道癌に対する根治的治療のひとつであり、良好な治療成績が報告されています。放射線治療により長期生存が得られるようになると、治療後の心臓や肺への毒性が問題となることがあります。これらの正常な臓器への影響を低減するために強度偏重放射線治療や粒子線治療などの放射線治療技術が開発されてきました。今後当院ではI期食道癌に対する重粒子線治療を検討していますが、従来のX線治療に比べて、重粒子線治療がどの程度正常臓器への影響を減らせるかは現状明らかにされていません。そこで、当センターで過去にI期食道癌で放射線治療を行った患者さんのデータを基に、重粒子線治療の仮想の治療計画を作成し、X線治療との線量分布の違いを定量的に評価します。
	研究対象者	2014年1月から2019年4月までに当院で放射線治療を開始したI期食道癌の患者さんのうち腫瘍の部位別に直近の5名ずつを対象とします。
	研究期間	西暦 2020年8月31日 ~ 西暦 2021年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(放射線治療計画データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 <input type="checkbox"/>	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	高草木 陽介
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	放射線治療科 重粒子線治療部門
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	とくに共同研究機関はありません。